

logicool®

# ハイブリッド ワーク体験を統合

ロジクールソリューションとMicrosoft Teamsは、ホームオフィスから会議室まで、従業員をシームレスにサポートします。



## はじめに

私たちの働き方は根本的に変わりました。かつては魅力的ながらもオプションの特典とみなされていたリモートワークや在宅勤務とオフィス勤務を組み合わせることができる働き方は、今では優秀な従業員を確保し、定着させるために不可欠なものとなりました。しかし、柔軟な勤務環境を実現するには、従業員が週に何日出勤するかを決めればよい、というような単純なことではありません。個人がどこで仕事をするかにかかわらず、生産性を高め、成果を最大化し、従業員がより働きやすい環境を整えるためには、基本的なことにとどまらない取り組みが必要です。



リモート勤務が可能な仕事をする従業員10人のうち6人が、柔軟な働き方を求めています。約3分の1は完全なリモートワークを好んでおり、オフィス勤務のみを好んでいるのは全体の10%未満です。

Gallup、2023年5月

## ハイブリッドという未来の働き方はすでに現実に

ハイブリッドワークが定着したのは周知の事実です。Gallupによると、2023年時点で、リモートワーク可能な従業員の29%は完全にリモートワークのみで働いており、52%は柔軟な勤務モデルを活用し、20%だけが毎日オフィスで働いていました。未来の職場は完全に定着しています。

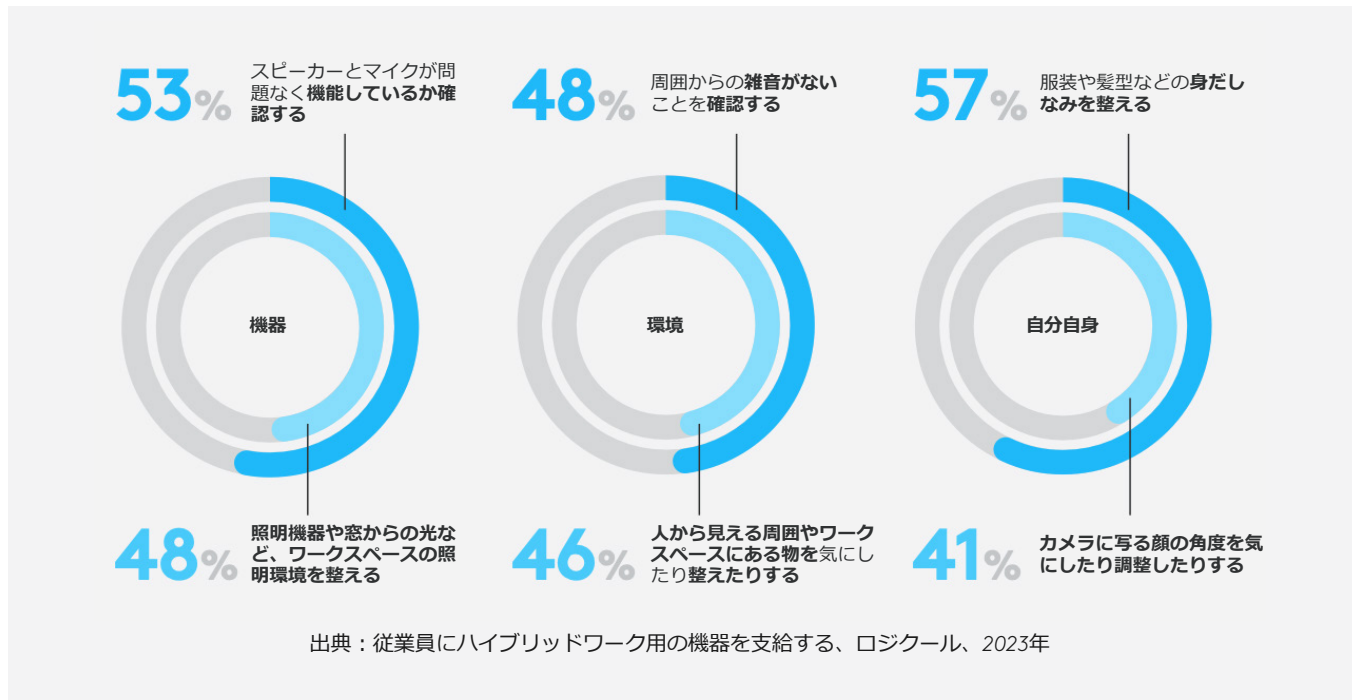
しかし、どこで仕事をするかは劇的に変わりましたが、どう仕事をするかは未だに変わったとは言い難い状況です。年齢や勤続年数に関係なく、従業員は操作に一貫性のない機器や機能が不十分な機器に苦労しています。あるデバイスを別のデバイスと「通信」できるようにする、新しいデバイスをセットアップして接続する、オーディオとビデオの設定を調整する、背景を見苦しくないようにするなど、課題は無限にあるように見えます。ハードウェアの問題を解決するには多くの時間とエネルギーを要し、従業員の生産性、成果、満足度に悪影響を及ぼします。

## 注目すべき事実：

- 2023年にロジクールがIT部門の意思決定者を対象に実施した調査によると、ウェブカメラやヘッドセットなど、オーディオとビデオのパフォーマンスを最適化する外付けアクセサリーが会社から支給されていると回答したのは40%未満でした。
- エンドユーザーの89%が、コンピュータの内蔵カメラによるビデオの問題に苦労しており、約3分の2が、照明、見栄えの悪いアングル、カメラ映りの悪さを自覚するなどの問題を報告しています。
- 調査参加者の85%は、コンピュータのスピーカー、マイク、および一般消費者向けのヘッドセットに関する、低音質、背景雑音、イヤホンやヘッドホンの接続の問題など、オーディオの問題に苦労しています。

出典：従業員にハイブリッドワーク用の機器を支給する、ロジクール、2023年

これらの障壁により、1日中常に煩わされ、仕事の流れが妨げられ、時間が無駄になります。性能や機能が不十分な機器の対応に費やしていた時間を、効率的かつ効果的に他のことに使えるとしたらどうでしょう？ロジクールとMicrosoftによる適切なソリューションを導入することで、それが実現します。



## ロジクールのハードウェアとMicrosoft Teamsで従業員体験をアップグレード

ロジクールの会議室用機器とデスクトップツールはMicrosoft Teams認定済みで、自宅やオフィスでの従業員体験をシームレスにアップグレードできます。ロジクールとMicrosoftは、連携して、従業員とIT部門双方のニーズを満たす柔軟で包括的なソリューションポートフォリオを提供します。結果として、生産性と従業員満足度が向上し、IT部門はウェブカメラのトラブルシューティングではなく、ビジネス価値の向上に集中できるようになります。

ロジクールのエコシステムとMicrosoft Teamsが、自宅、オフィス、会議室で、未来の職場環境をどのように強化するかをご紹介します。

# 自宅で：あらゆる場所で仕事ができるように設計された機器でリモートで働く従業員を支援する

まずは自宅です。リモートワークのみで仕事をしている場合でも、週に1~2回、在宅勤務をしている場合でも、リモートワークで働く従業員には、最高のパフォーマンスを発揮し、チームの一員であることを実感できるツールが必要です。ロジクールは、リモートワークの煩わしさを軽減し従業員を成功に導く、高性能の周辺機器を幅広くご用意しています。エンタープライズグレードのウェブカメラとヘッドセットが、最先端のオーディオ/ビデオ体験を提供します。パフォーマンスと快適さを追求したスマートなマウスとキーボードは、業務に集中しやすい環境を実現します。また、会議コントロール、スピーカー、マイクが内蔵された高度な一体型ドッキングステーションにより、すべてをつなぐことができます。

すべてのデバイスがMicrosoft Teamsとシームレスに連携するため、エンドユーザーもIT部門も、時間を有効に使えます。ロジクールとMicrosoftのソリューションにより、すべてが「スムーズに機能」します。

## 在宅勤務に不可欠なツールキット



### ウェブカメラ：

Brio 505

主要なビデオプラットフォームにより認定済みの1080pプラグ&プレイ 対応ウェブカメラBrio 505を使用すれば、ビデオ会議が簡単になります。



### ヘッドセット：

Zone Vibe Wireless 2

リモート管理、ノイズキャンセレーション、没入型オーディオなどのビジネスグレードの機能により、快適かつスタイリッシュに作業できます。



### キーボード：

MX Keys

スマートイルミネーションとプログラマブルキーを備え、快適で高速かつスムーズなタイピングを実現するハイパフォーマンス キーボードを体験してください。



### マウス：

MX Master 3S

手触りの良さ、精確さ、高い性能がより進化していることを作業中のあらゆる瞬間に実感することができます。



### USBレシーバー：

Logi Bolt

マウス、キーボード、コンピュータ間に安全で高性能なワイヤレス接続を確立します。



### ドック：

Logi Dock

一体型のUSB-Cドッキングステーションですべてのデバイスを接続し、ケーブルのもつれを解消しましょう。

# デスクで：シンプルかつシームレスなホットデスクキングでオフィススペースを最適化

次はオフィスです。柔軟な働き方により、従来のオフィスレイアウトにも新たなレベルの柔軟性と効率性がもたらされ、デスクスペースに新しい考え方を導入する必要が生じています。ホットデスクキング、ホテリング、フレックステスティングなど呼び方はさまざまですが、この新しいパラダイムでは、従業員とIT部門の双方にとってスムーズに機能するソリューションが必要です。

オフィスで仕事をする従業員には、デスクを見つけて仕事をするための簡単な方法が必要です。そこでLogi Dock Flexです。Logi Dock Flexは、従業員にはパーソナライズされたデスク予約を、IT部門にはシンプルなデバイス管理を実現する、マネージドドッキングステーションです。



## Logi Dock Flexが従業員にもたらすメリット：

- デスクの使用状況が一目でわかります
- 共有デスクを簡単に事前予約できるほか、直接デスクで使用申請することも可能です
- 同僚の出勤が通知されます
- 同僚やチームの近くにあるデスクを選べます
- ノートPCに接続するだけで、自動的にチェックインされ、接続されている周辺機器を利用できます
- パーソナライズされた背景の選択、メッセージの送信、通話への参加、今後の予定の確認ができます
- すっきりとしたケーブル管理でデスクを整頓できます

## Logi Dock FlexがIT部門や施設管理部門にもたらすメリット：

- デスクの状態の監視、更新の適用、設定の変更、問題のアラートの受信を、単一のプラットフォームから行えます
- マウス、キーボード、ウェブカメラなどの周辺機器が取り外された場合に自動アラートを受信できます
- Microsoft Teamsなどの既存のツールと連携して、一貫した体験を実現します
- チェックインデータを活用してデスクの使用状況を把握することで、スペースの利用計画を改善できます

もちろん、オフィスのデスクでも在宅勤務ツールキットの製品を利用できます。最上位の周辺機器とすべての接続を維持する確実なシステムにより、オフィス勤務がこれまで以上に魅力的になります。

# 会議室で：すべての従業員にとって会議を簡単かつ公平に

もちろん、オフィスの主な魅力は、直接対面できることです。従業員がホットデスクに慣れたら、効率的かつ簡単にコラボレーションするための方法が必要になります。

幸い、会議室の機能も格段の進歩を遂げています。ロジクールのエコシステムとMicrosoft Teamsの完全な連携により、ハドルルームから役員会議室まで、すばやく簡単にチェックインして会議を始めることができます。

小会議スペースは多くの場合、BYOD（Bring Your Own Device）会議室として機能します。従業員は自分のノートPCを持参して会議を行い、そのノートPCを、小規模環境に特化した一体型の会議用カメラであるロジクールMeetUpに接続します。MeetUpには、高度なオーディオ機能やビデオ機能、会議室を横断する配線を減らして使用可能なスペースを最大化するTVマウントなど、優れたパフォーマンスが小型の筐体に詰め込まれています（スピーカーフォンは不要です）。MeetUpは、ロジクールRoomMateに接続して、リモートでの

デバイス監視や管理を行うこともできます。

ロジクールとMicrosoftのパートナーシップは、Microsoft Teams専用会議室によってさらに強化されます。Microsoft Teams専用会議室は、ロジクールRally BarソリューションとTapファミリー製品の組み合わせにより、真に革新的な会議室体験を生み出します。

Microsoft Teams専用会議室では、従業員は個人のノートPCを持参する必要がありません。代わりに、Rally Barに内蔵されたコンピュータを使って、Microsoft Teamsなどのビデオ会議アプリケーションを、デバイスから直接、ワンタッチで実行できます。Tap Schedulerは、会議室のスケジュールリングを効率化し、従業員が適切なスペースを見つけて使用申請するのに役立ちます。一方、TapとTap IPタッチコントローラは、ワンタッチでの参加、カレンダー連携、簡単なコンテンツ共有を可能にし、すべての会議室で一貫した体験を実現します。





## 会議室に適したビデオバーを選ぶ



**MeetUp**  
BYOD (Bring Your Own Device) 小会議室  
最大4人



**Rally Bar Huddle**  
小会議室  
最大7人



**Rally Bar Mini**  
中会議室  
最大12人



**Rally Bar**  
大会議室  
最大20人

Microsoft Teams専用会議室では、会議室内からの参加かリモートからの参加かを問わず、全員が公平に会議に参加できます。Rally Barは、話者に焦点を当てる、会議室全体を表示する、画面上に空白スペースを生じさせないよう、参加者をギャラリーフレームに分割して表示するなど、さまざまな表示オプションを切り替えることができます。AIビューファインダーが映像を最適化し、AIベースのRightSoundテクノロジーが声の音量の自動レベリングと不要なノイズを抑制します。ロジクールハードウェアを備えたMicrosoft Teams専用会議室では、会議室にいる人にも自宅にいる人にもクリア

な映像と音声伝わるため、公平である実感をもたらせます。

Rally Barファミリー製品は、IT部門による会議室管理を容易にします。IT部門と管理者は、Microsoft Teams Rooms Pro管理ポータルまたはロジクール Syncのいずれかを使って、デバイスの更新から使用状況の把握まで、会議室の状態の監視と管理ができます。

## 会議室をさらに充実させる最先端の周辺機器とアクセサリ



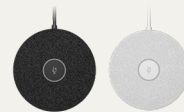
### Sight

AIを使用して複数の参加者をインテリジェントにフレーム内に収め、リモートからの参加者にも同じテーブルに着いているかのような感覚をもたらす卓上型会議用カメラ。



### Scribe

ホワイトボードをビデオ会議に簡単にブロードキャストすることで、スムーズなコラボレーションとブレインストーミングを促せるホワイトボードカメラ。



### マイクポッド

RightSoundテクノロジーにより、会話に適したクリアで自然な音声を提供するモジュール式マイク。



## ロジクールソリューションとMicrosoft Teamsで生産性と満足度を高める

未来の働き方を受け入れることは、単に従業員に自主性や柔軟性を与えることではありません。組織は、従業員が仕事で成果を上げるために必要なツールを、自宅、オフィス、およびその他のあらゆる場所で提供する必要があります。

ロジクールのポートフォリオとMicrosoft Teamsがどのように会議を変革するかを、[パートナーシップの詳細ページ](#)でご確認ください。スペース別のソリューション、製品仕様なども記載されています。

logicool.

販売代理店または当社  
([www.logicool.co.jp/vcsales](http://www.logicool.co.jp/vcsales))  
までお問い合わせください  
発行：2024年3月

このホワイトペーパーは、情報提供のみを目的としています。ロジクールでは、このホワイトペーパーに記載された情報に関して、明示または黙示または法定を問わず、いかなる保証も行いません。このホワイトペーパーは「現状のまま」で提供されており、ロジクールによって随時更新される可能性があります。

© 2024 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。Logicool、LogiおよびLogicoolロゴは、米国および/またはその他の国における、Logitech Europe S.A.およびその関連会社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。ここに記載されている情報は予告なく変更される場合があります。